

## 健康増進課

## 健康増進係

### 1 健康増進対策

平成25年3月に改定された「福岡県健康増進計画（いきいき健康ふくおか21）」に基づき、「県民一人ひとりが、地域の中でともに支えあい、健やかでこころ豊かに過ごせ、長生きしてよかったと実感できる社会の実現」に向けて、県民健康づくり推進事業、生活習慣病対策事業等を実施している。今年度は職域との連携推進や県民の自主的健康づくりの支援についての取り組みについて強化を図っている。

#### (1) 県民健康づくり推進事業

##### ア 地域・職域連携会議

今年度は職域での健康づくりの課題の検討、関係機関（福岡中央労働基準監督署、地域産業保健センター、全国健康保険協会福岡支部等）の業務内容や実施状況について理解を深め、地域と職域が連携して実施する体制整備の充実強化を行っている。

(平成27年度)

実施日	場所	内容	出席者
平成28年 2月25日	筑紫総合 庁舎	議事 1 受診率向上にむけての取組 (1) 全国健康保険協会福岡支部 (2) 各商工会 (3) 各市町 2 質疑応答、意見交換 3 情報提供 (1) 福岡産業保健総合支援センター (2) 福岡中央労働基準監督署 (3) 保健所	20人

##### イ 自主的健康づくりに取り組むきっかけづくりの提供

生活習慣病の発症予防を図るために健康づくりに関心のない地域住民に対して健康づくりに取り組むきっかけを提供している。

##### a 市町等で行うイベントでの普及啓発（いきいき健康づくり応援事業）

(平成27年度)

実施日	場 所	行 事	参加者数
6月7日	ミリカローデン（那珂川町）	歯を守る集い	104人
6月13日	保健環境研究所（太宰府市）	保健環境フェア	77人
8月22日	JA 筑紫（筑紫野市）	ちゃぐりんフェスタ	164人
10月4日	カミーリヤ（筑紫野市）	カミーリヤフェスタ	76人
10月18日	春日市役所	環境フェスタ	70人
11月7日	工業技術センター（筑紫野市）	一般公開	109人
11月8日	すこやか交流プラザ（大野城市）	健康・食育フェスティバル	47人

##### b 健康ポータルサイトの周知

健康づくり関係事業等の実施を通じて健康ポータルサイトの周知（ちらしの配布等）を行っている。

ウ 職域における健康づくりへの支援

働く世代の健康づくりを支援するために事業所等が主体的に健康づくりに取り組むなど、従業員が健康づくりに取り組みやすい環境づくりの推進を図っている。

a 経営者等に対する啓発

経営者が集まる団体の会合に赴き、健康づくりの必要性について理解を深めてもらうために、講演会等を実施する。

(平成27年度)

回	実施日	場 所	参加研修会名等	参加者数
1	4月13日	ロイヤルチェスター福岡	美容生活衛生同業組合総会	54人
2	7月28日	筑紫総合庁舎 大会議室	食品衛生協会 指導員研修会	31人

b 職場における自主的な健康づくりの促進（健康づくりアドバイザー派遣事業）

事業所が健診の受診勧奨や運動等に関する自主的な活動がおこなえるよう支援を行う。

(平成27年度)

回	実施日	事業所名	場 所	実施内容	参加者数
1	8月12日	美容室 プルミエール	春日市	健康づくりの講話	3人
2	9月8、9日	工業技術センター	筑紫野市	メンタルヘルス 健康づくり	34人

(2) たばこ対策

喫煙は肺がんや虚血性心疾患をはじめとする多くの生活習慣病の危険因子となるため、未成年者の喫煙防止や分煙・禁煙支援を推進するたばこ対策を実施している。

a 地域のたばこ対策の推進

(平成27年度)

実施日	対象者	内 容
平成28年 2月25日	医師会、薬剤師会、福岡産業保健総合支援センター、福岡中央労働基準監督署、全国健康保険協会福岡支部、商工会、市町等	地域・職域連携会議において 薬剤師会のたばこ対策の取組 禁煙宣言施設応援事業について情報提供

b 喫煙防止セミナー

(平成27年度)

実施日	場 所	内 容	参加人数
8月26日	筑紫総合庁舎	講演「喫煙による健康への影響について」	25人

c 禁煙宣言施設応援事業

建物内禁煙を実施している施設や事業所等を「禁煙宣言施設」として登録証を交付し、禁煙施設であることを明示する。今年度は14施設登録。

(3) 栄養改善

健康づくりのための一次予防対策をすすめるために、市町における栄養関係業務の支援や地域において食生活改善の普及啓発等の活動を行う食生活改善推進会等の組織の育成に取り組んでいる。

さらに多様化する食生活に対応するために、「ふくおか食の健康サポート店」の登録を進め、栄養表示に関する相談に応じるなど栄養情報の提供による食環境の整備を行っている。

また、特定多数人に対して継続的に食事を提供する特定給食施設等に対しては、栄養改善上必要な指導を行い、施設における栄養管理の充実や関係職員の質の向上に努めている。

一方で病態に応じた生活の質（QOL）の向上のための食生活支援についても栄養相談等の窓口を設置し、食の自立支援を行っている。

ア 栄養改善事業実施状況

(平成27年度)

専門栄養指導事業	・総合栄養相談(糖尿病、難病等、栄養情報提供含)	67件
地区組織育成事業	・筑紫地区研修会 ・食と健康教室	1回 2回
特定給食施設指導	・特定給食施設研修 ・調理師研修会 ・巡回・個別指導	2回 1回 147件
市町村支援	・栄養改善事業推進指導	1回
食環境整備事業	・ふくおか食の健康サポート店	6店 (H28年3月末現在)

イ 栄養・運動等指導実施状況

単位：人 (平成27年度)

		栄養指導			運動指導		休養指導	禁煙指導	その他
			(再掲)病態	(再掲)訪問		(再掲)病態			
個別指導(延)	乳幼児								
	20歳未満								
	20歳以上	33	2						10
集団指導	20歳未満								
	20歳以上	38			48		39	25	647

ウ 特定給食施設数

(平成28年2月現在)

	管理栄養士がいる施設		栄養士のみいる施設		どちらもいない施設		計	
	特定給食施設	その他の施設	特定給食施設	その他の施設	特定給食施設	その他の施設	特定給食施設	その他の施設
学校	38	0	7	0	6	0	51	0

病院	18	9	0	0	0	0	18	9
介護老人保健施設	6	1	0	0	0	0	6	1
老人福祉施設	7	7	0	5	0	2	7	14
児童福祉施設	11	2	25	7	6	4	42	13
社会福祉施設	2	3	0	2	0	0	2	5
事業所	0	0	0	0	0	0	0	0
寄宿舍	1	1	1	1	0	1	2	3
自衛隊	1	0	1	0	0	0	2	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計	84	22	34	15	12	7	130	45

エ 特定給食施設指導状況（延べ人数）

（平成27年度）

特定給食施設		その他の給食施設	計
1回100食以上又は 1日250食以上	1回300食以上又は 1日750食以上		
155	36	94	294

オ 食生活改善推進会組織状況

（平成27年7月現在）

市町名	組織名	会員数（人）	結成年月日
筑紫野市	筑紫野市食生活改善推進会	78	平成元年 4月 1日
春日市	春日市 食生活改善推進会	80	昭和53年11月25日
大野城市	大野城市食生活改善推進会	205	昭和52年 3月11日
太宰府市	太宰府市食生活改善推進会	64	昭和53年 4月 1日
那珂川町	那珂川町食生活改善推進会	56	昭和53年 3月 1日
計		483	
筑紫地区食生活改善推進会			昭和53年 6月 2日

（4）調理師関係業務

ア 調理師免許 新規申請・書換交付申請・再交付申請受付数 118件（平成27年度）

イ 調理師研修会

（平成27年度）

実施日	場所	内容	参加者数
10月9日	筑紫総合	講話「発酵食品の基礎知識	

	庁舎 大会議室	～醸造の原動力「麴」と伝統調味料～ 福岡県醤油醸造協同組合 専務理事 野田義治氏 情報提供「食品衛生について～」	53人
--	------------	--	-----

(5) 市町村健康推進計画等に基づいた健康づくり推進支援

ア 市町村健康づくり推進協議会等への支援

管内市町村の健康づくり推進協議会等の委員として出席し、地域での健康づくり推進を支援している。

(平成27年度)

健康づくり推進協議会等	出席回数
筑紫野市健康づくり推進協議会 (小委員会含む)	5
春日市健康づくり推進協議会	2
大野城市健康づくり推進協議会	1
那珂川町健康づくり推進協議会	4

イ 市町栄養改善業務担当者会議

実施日	場所	内容	出席者数
9月10日	筑紫総合庁舎	1 市町食育計画等 2 介護保険法改正について 3 当所業務について 4 情報提供	7人

(6) 生活習慣病対策事業

ア 生活習慣病対策市町村支援

重症化予防に取り組む市町村に対し、効果的な取り組みが行えるよう、関係機関との連携や調整及び研修を実施している。

a 市町及び保健所相互の情報共有・連絡調整

今年度は、管内市町村で開催される保健師協議会等に参加し、健康づくりに関する情報提供等を実施している。

(平成27年度)

回	実施日	場所	内容	出席者数 (人)
1	5月22日	大野城市すこやか交流プラザ	・平成27年度保健所業務について ・商工会事業主向けのちらし ・筑紫地区糖尿病等医療連携推進事業について	10
2	9月1日	大野城市すこやか交流プラザ	・筑紫地区糖尿病等医療連携推進事業について ・商工会事業主向けのちらし	10
3	12月9日	筑紫総合庁舎 第2会議室	・筑紫地区糖尿病等医療連携推進事業について	8
4	3月15日	大野城市すこやか交流プラザ	・筑紫地区糖尿病等医療連携推進事業について 今後の方向性	8

イ 生活習慣病医療連携

地域における重症化予防の取組を推進するため、関係機関との連携体制の整備を図っている。

a 筑紫地区糖尿病等医療連携推進事業

筑紫地区の糖尿病対策の一環として、平成20年度から「筑紫地区糖尿病等医療連携推進事業」を実施している。これにより、特定健康診査結果から医療機関においては糖尿病を見逃すことなく診断し早期治療に結びつけるとともに、境界型の人に対しては必要な保健指導を受ける環境整備を地域と医療機関が連携して行い、早期に糖尿病の予防に取り組む体制の整備を図っている。

(平成27年度)

実施日	内 容	関係団体
平成28年 3月1日	筑紫地区糖尿病医療連携推進会議に係る保健・医療連絡会議 1 筑紫地区糖尿病等医療連携推進事業報告 2 平成26年度特定健診結果からみた糖尿病の現状 3 平成27年度筑紫地区糖尿病等医療連携事業実施要領	筑紫医師会 管内市町

## 2 歯科保健

歯科保健医療の環境整備をすすめるために歯科医師会、管内市町との定例的な会議や人材育成、在宅神経難病患者等への歯科健診事業に取り組んでいる。

(1) 歯科保健医療連携事業

ア 筑紫地区歯科保健医療連絡協議会

日 時：平成27年4月15日、7月22日、11月17日の3回

場 所：筑紫歯科医師会館

出席者：筑紫歯科医師会（11人）、福岡県歯科衛生士会（2人）、当事務所（2人）、市町（6人：事務局含む）

イ 食と健口づくりフェスタ(歯を守る集い)

準備委員会：4回

開催日時：平成27年6月7日（日）

開催場所：ミリカローデン那珂川

来場者(世帯数)：792人（281世帯）

保健所実施コーナー

- ・血管年齢測定
- ・ポータルサイト体験
- ・血圧測定
- ・健康相談

ウ 特殊歯科保健医療推進事業

実施日	実施場所	歯科医師等健診 スタッフ	受診者数	歯科治療機関へ の紹介人数
-----	------	-----------------	------	------------------

平成28年 3月22日（水）	筑紫野市	歯科衛生士	1人	1人
-------------------	------	-------	----	----

エ 地域保健関係職員等研修（歯科保健）

実施日時	実施場所	テーマ及び講師	参加者数
平成28年 1月29日（金）	筑紫総合庁舎 2階大会議室	「老いても病んでも口から食べるために！～口腔管理からの食支援～」 講演1「口腔機能の基本的なこと」 せき歯科医院院長 関 暁彦氏 講演2「口腔支援、ケアの実際、ポイントについて」 筑紫歯科医師会 歯科医療連携室 歯科衛生士 高野ひろみ氏	76人

オ 歯周疾患予防推進事業

実施日時	実施場所	テーマ及び講師	参加者数
平成27年 11月3日（火） 13:00～16:00	障がい者つくり更生会 （春日市）	本当は怖い！歯周病！ ～からだの健診のように、歯のチェック実施していますか？～ 久保山 裕子 歯科衛生士	26人

### 3 母子保健

近年、少子化や核家族化の進行、地域連帯意識の希薄化、情報の氾濫など母子を取り巻く家庭環境、社会環境も大きく変化してきている。このような状況の中で、今後豊かで活力ある社会を築くためには、子どもを心身ともに健やかに生み育てることがますます重要な課題となっている。このため当所では相談事業をはじめ各種施策に取り組んでいる。

(1) 乳幼児発達相談

乳幼児健診等で将来、精神・運動発達面において問題を残すおそれのある児を、早期に把握し、専門スタッフによる発達相談を行い、児の健全な発達を促すことを目的として実施している。

平成27年度 乳幼児発達相談実施状況

回数	医師	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士
6回	延24人	延4人	延16人	延14人

(2) 訪問指導

子どもが健全に成長できるよう、生活の場である家庭を訪問し、未熟児や乳幼児の発達や育児面について早期から相談にあたり、母親やその家族を支援している。

平成27年度 訪問指導実施状況

単位：人

妊産婦	未熟児	乳児（未熟児を除く）	幼児	計



実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
7	10	0	0	6	6	4	6	13	21

### (3) 慢性疾患児童等療育相談支援事業

慢性的な疾患により長期にわたり療養を必要とする児童等について、適切な療育を確保するために、その疾患の状態及び療育の状況を随時把握するとともに、その状況に応じた適切な療育指導を行い、慢性疾患児童等の健全育成及び自立促進を行うことを目的に事業を実施し、本年度は慢性疾患児童等、発達障がい児支援のために担当者連絡会を行った。

#### 平成27年度開催状況

実施月日	実施場所	参加対象者	参加者数	内 容
平成28年 2月26日	筑紫総合庁舎 大会議室	管内市町 (健康部門・子育て部門・福祉部門・教育委員会) 特別支援学校、その他施設等	30人	○事例検討会 (1)小児1型糖尿病児童に対する対応について (2)ダウン症・1型糖尿病幼児への対応について ○意見交換 ○小児慢性特定疾患児童等自立支援事業について

### (4) 生涯を通じた女性の健康支援事業

女性は、妊娠出産の仕組みが備わっているため、そのライフステージにおいて特有な女性ホルモンの影響を受け、様々な心身の悩みを抱えている。

このため生涯を通じた女性の健康保持増進を図ることを目的に、電話による専門相談を随時受けている。平成27年度の相談件数は、面接相談290件、電話相談621件であった。

また、女性がそれぞれの健康状態に応じ健康管理ができることを目的に健康教育を開催した。

実施月日	実施場所	講師(職名)	参加対象者	参加者数	教 室 内 容
9月30日 (水)	社会福祉施設	筑紫保健福祉環境事務所 助産師	施設入所者 職員	17人	講話 「女性特有の心と体 ～女性ホルモンに影響される心と健康～」
11月17日 (火)	筑紫総合庁舎4階 第3会議室	不妊看護認定看護師 加来 久美氏	不妊治療中の女性	8人	不妊セミナー第1回 講話 「不妊治療との付き合い方」 ～日常生活を快適に過ごすために～
12月8日 (火)	筑紫総合庁舎 相談室	筑紫保健福祉環境事務所 助産師、保健師	不妊治療中の女性	6人	不妊セミナー第2回 交流会 不妊治療についての不安や悩み、情報交換など

### (5) ハイリスク妊産婦支援事業

ア 未熟児等保健・医療連携事業

必要に応じ、市町と連携のもと、主治医等及び保護者と連絡の上、医療機関を訪問し、市町が未熟児等の成長発達等を把握するにあたり支援を行う。また、必要に応じ、市町が未熟児等への家庭訪問を行うにあたり、支援を行い保護者の不安軽減に努める。

イ 妊娠期からのケア・サポート事業

妊娠中からリスクがある母親を把握し産後うつ病を含めた育児等の不安を軽減することで、良好な母子関係の形成を促し、児童虐待を未然に防止することを目的としている。

医療機関より情報提供があれば、市町と連携し訪問等を行った。

(6) 医療給付

ア 妊娠中毒症療養援護費の支給

治療を必要とする妊産婦に対し、医療援護費を給付するものである。

平成27年度の申請件数は0件である。

(7) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

不妊治療を希望しているにもかかわらず、経済的負担を感じている夫婦に対し、治療を受けやすくすることを目的に費用の一部を助成している。平成28年2月には実施要綱が改正され、初回治療の方に助成額が上乘せされ、加えて男性不妊治療も対象となった。

平成27年度の申請件数は620件である。

(8) 母子保健関係者会議

ア 母子保健事業担当学会議

母子保健関係者の連絡調整のために、母子保健事業に関する会議を開催している。

平成27年度は2回開催した。

## 4 難病対策

平成26年5月23日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が成立し、平成27年1月1日から、指定難病（発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなる難病のうち、厚生労働大臣が指定するもの。）にかかっている方に対する新たな医療費助成制度が開始された。

なお、特定疾患治療研究事業は、改正された「特定疾患治療研究事業実施要綱」に基づき、対象疾患を変更して実施される。

(1) 特定疾患治療研究事業

対象疾患及び管内における受給者証交付件数は、下記のとおり。

特定疾患医療受給者証所持者数 単位：人 ( )は重症患者数再掲

疾患名	管内 (H27年度末)
スモン	3 ( 3 )
難治性の肝炎のうち劇症肝炎 ※既認定者継続のみ対象	2 ( 2 )

重症急性膵炎 ※既認定者継続のみ対象	3 ( 3 )
合 計	8 ( 8 )

- (2) 特定医療費（指定難病）  
平成28年3月31日現在、医療助成の対象となる指定難病は306疾病。  
管内における受給者証交付件数は、下記のとおり。（疾患群別に記載）

特定医療費（指定難病）受給者証所持者数

単位：人

疾患群		疾患名	人数	
血液系 疾患	60	再生不良性貧血	33	137
	61	自己免疫性溶血液性貧血	3	
	63	特発性血小板減少性紫斑病	73	
	65	原発性免疫不全症候群	6	
	40	高安動脈炎	22	
免疫系 疾患	41	巨細胞性動脈炎	2	393
	42	結節性多発動脈炎	5	
	43	顕微鏡的多発血管炎	21	
	44	多発血管炎性肉芽腫症	9	
	45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3	
	46	悪性関節リウマチ	10	
	47	バージャー病	15	
	49	全身性エリテマトーデス	190	
	50	皮膚筋炎／多発性筋炎	66	
	53	シェーグレン症候群	5	
	54	成人スチル病	3	
	56	ベーチェット病	62	
	306	好酸球性副鼻腔炎	2	
内分泌系 疾患	72	下垂体性 ADH 分泌異常症	8	69
	74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	13	
	75	クッシング病	1	
	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12	
	78	下垂体前葉機能低下症	35	
代謝系 疾患	19	ライソゾーム病	3	20
	20	副腎白質ジストロフィー	1	
	21	ミトコンドリア病	4	
	28	全身性アミロイドーシス	7	
	171	ウィルソン病	1	
	245	プロピオン酸血症	1	
	251	尿素サイクル異常症	2	
	257	肝型糖原病	1	
神経・筋	1	球脊髄性筋萎縮症	2	858
	2	筋萎縮性側索硬化症	26	
	3	脊髄性筋萎縮症	1	
	5	進行性核上性麻痺	28	
	6	パーキンソン病	428	

疾患          神経・筋 疾患	7	大脳皮質基底核変性症	13	
	10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	
	11	重症筋無力症	44	
	13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	63	
	14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチ ー	8	
	17	多系統萎縮症	36	
	18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	102	
	22	もやもや病	94	
	23	プリオン病	3	
	24	亜急性硬化性全脳炎	1	
	26	HTLV-1 関連脊髄症	5	
	113	筋ジストロフィー	2	
	120	遺伝性ジストニア	1	
視覚系 疾患	90	網膜色素変性症	53	53
循環器系 疾患	57	特発性拡張型心筋症	62	83
	58	肥大型心筋症	15	
	208	修正大血管転位症	1	
	215	ファロー四徴症	1	
	216	両大血管右室起始症	2	
	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2	
呼吸器系 疾患	84	サルコイドーシス	38	87
	85	特発性間質性肺炎	34	
	86	肺動脈性肺高血圧症	8	
	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6	
	89	リンパ脈管筋腫症	1	
消化器 疾患	91	バッド・キアリ症候群	1	880
	93	原発性胆汁性肝硬変	55	
	94	原発性硬化性胆管炎	1	
	95	自己免疫性肝炎	11	
	96	クローン病	206	
	97	潰瘍性大腸炎	604	
	98	好酸球性消化管疾患	2	
皮膚・結合 組織疾患	34	神経線維腫症	15	147
	35	天疱瘡	8	
	36	表皮水疱症	1	
	37	膿胞性乾癬	11	
	38	スティーブンス・ジョンソン症候群	2	
	51	全身性強皮症	77	
	52	混合性結合組織病	32	
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1		
骨・関節系 疾患	68	黄色靭帯骨化症	8	193
	69	後縦靭帯骨化症	98	
	70	広範脊柱管狭窄症	31	

	71	特発性大腿骨頭壊死症	49	
	271	強直性脊椎炎	7	
染色体・遺伝子疾患	227	オスラー病	2	2
腎・泌尿器系疾患	66	IgA 腎症	13	34
	67	多発性嚢胞腎	17	
	222	一次性ネフローゼ症候群	4	
合 計			2956	2956

### (3) 在宅療養支援事業

ALSを中心とした重症神経難病患者等の在宅での質の高い生活を可能にするため、家庭訪問等を行っている。また、災害時対応を含めた療養環境の整備や訪問看護ステーション、市町をはじめとする関係機関の連携体制の構築、在宅ケアに従事する職員の資質向上を図り、相談や患者交流会の実施、地域での生活支援のためのボランティア育成等にも取り組んでいる。

#### ア 家庭訪問

要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上及び療養上の悩みについて、家庭訪問を行い相談・指導・助言を行っている。

期間	対象者	内 容	件数
平成27年度 4月～3月	要支援難病患者及びその家族	在宅支援における療養上の相談、医療福祉等についての情報提供等	33

#### イ 在宅療養支援計画策定・評価

家庭訪問等で把握した要支援難病患者の中でもより重症で、多職種による支援の必要な患者について、個々の実態に応じたきめ細かな支援を行うために支援計画の策定や評価を行っている。

個別事例会議				
期間	場所	対象者	内容（疾患別）	出席者
平成27年 4月1日 ～ 平成28年 3月31日  6回開催	医療機関等 3回  自宅 3回	要支援難病患者	在宅支援計画について ・ALS 6回	4～15人/回 内訳：本人、家族、医師、看護師、PT、OT、ST、MSW、難病医療専門員、ケアマネ、訪問看護師、ホームヘルパー、福祉用具業者、当所保健師

#### ウ 医療相談

電話相談（難病ホットライン）や来所相談、手続き時相談、講演会・交流会時に患者や家族からの相談に応じている。

事業名	目的	対象者	内容及び結果	
電話相談 (難病ホット ライン含む)	難病患者・家族、関係者 の相談に応じる。	難病患者 ・家族、及 び関係者	随時対応	
難病保健福 祉相談	患者の療養上の不安の解 消を図るため、相談事業 を実施する。	難病患者 及び家族	特定疾患受給者証交付時や継続申請時等 、随時来所相談を受けている。	
パーキンソ ン病交流会	パーキンソン病患者及び 家族同士の交流を図り、 疾病についての理解を深 めると共に、日常生活の 工夫や福祉制度等を学び 、よりよい療養生活を援 助する。	パーキン ソン病の 患者家族	①情報交換、パーキンソ ン体操等 ②講話「日常生活に取り 入れるリハビリのポイント」 島本脳神経外科医院 理学療法士 二宮 嘉宣 氏	2回開催 ①H27. 6. 16 ②H27. 12. 2  参加者 91人 (延べ)
A L S 相 談 交 流 会	ALS患者及び家族同士の 交流を図り、疾病につい て理解を深め、よりよい 療養ができるよう援助す る。	ALS患者・ 家族及び 関係機関 職員	講話「ALS患者さんと御家 族の日常生活の工夫と支 援体制について」 交流会	1回開催 H28年3月25日 参加者4人

## エ 研修会等

### ① 難病ボランティア研修・育成

地域で生活する難病患者を支えるためのボランティアを育成すると共に、所内で開催する各交流会・講習会に協力を求め、生活支援の理解を深めている。

日時	場所	対象者	内 容	参加者
平成27年 6月30日 ～7月13日 の内 10日間	筑紫総合庁舎 2階大会議室	ボランテ ィア研修 受講者	特定疾患継続申請手続き時におけるボランテ ィア活動 主に会場案内（番号札渡し等）	実人員 3人 延べ 12人
平成27年 6月16日 12月2日	筑紫総合庁舎 2階大会議室		パーキンソン病交流会（ひまわり会）におけ るボランティア活動	実人員 3人 延べ 6人

### オ 難病相談従事者研修

難病患者の看護や介護に関する関係機関を対象に、資質向上を目的として研修会を実施している。

日 時	場 所	出席機関	内 容

平成 28 年 1 月 29 日 13:30~16:00	筑紫総合庁 舎大会議室	訪問看護ステーション、居宅介護事業所、地域包括支援センター、病院等	① 講演 1 「口腔機能の基本的なこと」 せき歯科医院 院長 関 暁彦氏 ② 講演 2 「口腔支援、ケアの実際、ポイントについて」 筑紫歯科医師会 歯科衛生士 高野ひろみ氏
------------------------------------	----------------	-----------------------------------	--

#### カ 筑紫地区難病対策地域協議会

「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき、筑紫地区における難病対策のあり方や体制の整備等について協議するため、平成 27 年度から開催する。

日時	場 所	出席機関	内 容
平成 28 年 2 月 3 日 15:20~16:20	筑紫総合庁 舎大会議室	医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院 筑紫地区介護支援専門員連絡協議会、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、市町、ハローワーク、福岡県難病・支援センター	・難病患者支援事業について ・要綱について ・意見交換「介護職による痰吸引等の在宅支援の推進について」

#### (4) 小児慢性特定疾病に関する支援

##### ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度

特定の小児慢性疾患に罹っている 18 歳未満（必要時 20 歳到達前まで延長）の患児保護者に対して、「小児慢性特定疾患治療研究事業」を実施し、医療費の負担軽減を図っていたが、平成 26 年 5 月 30 日に「児童福祉法の一部を改正する法律」が公布され、平成 27 年 1 月 1 日から新たな医療費助成制度を行っている。

新制度では、対象疾病がこれまでの 514 疾病から 704 疾病に拡大している。

##### イ 医療、療養相談

患者の家族等の不安や日常生や療養上の悩みなどについて、面接相談、電話相談を実施している。

対 象 者	内 容	申請件数 (新規) ※	面接相談 件数	電話相談 件数
18 歳未満 (20 歳到達前 まで延長可)	医療費の公費負担申請等 について	198	879	189

※「小児慢性特定疾患治療研究事業」含む。

##### ウ ピアカウンセリング

小児慢性特定疾患児の親等は、疾患への不安や、日常生活を送る上での悩みを抱えていることが多い。

そこで、福岡ブロックを実施単位として、専門スタッフによる助言・相談を行うことにより、親等の不安解消、ひいては小児慢性特定疾患児の日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図ることを目的に開催している。

<開催状況>

平成27年 11月25日	宗像・遠賀保健福祉 環境事務所 講堂	講演会・交流会「普通に生きる」 バクバクの会 九州支部幹事 田中 千尋 氏
-----------------	--------------------------	---

エ 医療受給者証交付数

(平成28年3月31日現在)

疾患内容	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	変化を伴う症候群	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	皮膚疾患群	計
新規	2	2	0	2	5	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	14
継続	55	37	15	47	139	8	24	20	14	13	19	10	1	1	1	403
計	57	39	15	49	144	8	24	21	15	13	20	10	1	1	1	417

## 5 原子爆弾被爆者援護事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳等交付申請、一般疾病医療費支給申請、諸手当支給認定申請、一般疾病医療機関指定申請、年2回の定期健康診断等に関する事務を当所で実施している。

(1) 被爆者手帳等所持者数 単位：人 (平成28年3月31日現在)

被爆者手帳所持者数	第一種健康診断 受診者証	第二種健康診断 受診者証
661	3	23

(2) 各種手当等受給者数 単位：人 (平成28年3月31日現在)

医療 特別手当	特別 手当	健康 管理手当	保健手当 (増額含む)	介護 手当	家族 介護手当	葬祭料申請 件数
28	6	561	19	4	1	39

(3) 原爆被爆者健康診断受診者数 単位：人 (平成27年度)

定期健康診断		希望による健康診断	
春(5~6月)	秋(10~11月)	一般検査	がん検査



133	109	0	93
-----	-----	---	----

## 6 肝炎インターフェロン治療費等助成制度

国内最大の感染症であるB型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎は、インターフェロン治療が奏効すればウイルスの除去、その後の肝硬変、肝臓がんの予防も可能といわれている。しかしながら、このインターフェロン治療に係る医療費が高額なため早期治療推進の妨げとなっている。

そこで、平成20年4月1日からB型ウイルス性肝炎、C型ウイルス性肝炎、C型代償性肝硬変でウイルスの除去を目的として行うインターフェロン治療の治療費の一部を各世帯の所得等状況に応じて軽減する制度が開始された。

当所（各保健所）が窓口となり治療費の助成申請、医療受給者証の交付変更にかかる事務を行っている。

肝炎インターフェロン治療費助成制度 申請状況 (平成28年3月31日現在)

年 度	申 請 件 数	医療受給者証交付件数 (3月末交付分)	6ヶ月延長申請件数
25	(インターフェロン) 65	50	2
	(核酸アナログ新規) 46	50	
	(核酸アナログ更新) 217	209	
26	(インターフェロン) 171	159	1 (副作用)
	(核酸アナログ新規) 42	42	
	(核酸アナログ更新) 233	238	
27	(インターフェロン) 270	264	0
	(核酸アナログ新規) 39	34	
	(核酸アナログ更新) 237	239	

## 7 在宅医療推進事業

「誰もが安心して望む場所で療養できる地域づくり」を目指し、平成22年10月1日より「筑紫地域在宅医療支援センター」（以下センターという）を設置し、在宅医療・介護の相談に対応するとともに在宅療養を支援する体制の構築を図るための事業を実施している。

### (1) 筑紫地域在宅医療推進協議会

開催日：平成28年2月3日（水）13：30～15：20

委 員：医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、市町、福岡県立大学

内 容：1) 報告：各組織の在宅医療に関する取り組みについて

2) 意見交換：医療・介護関係者の情報共有について

3) 次年度に向けた取り組み

(2) 情報収集

- ① 訪問看護ステーションのサービス提供体制に関するアンケート (H27年10月調査)
- ② 介護職による痰吸引等支援の実施状況についてのアンケート (H27年10月調査)
- ③ 介護支援専門員による要介護者の訪問診療受給状況についてのアンケート  
(H28年2月調査)

(3) 患者・家族向け総合相談、及び医療従事者向け相談

随時、電話相談、来所相談に対応。必要時、保健師等による家庭訪問を実施。

(4) 研修会の開催

ア 普及啓発

日時	場所	対象者	内容
平成27年 8月6日(木) 10:30~11:30	大野城市南が丘2区 老人憩いの家	ひまわり会会員及び 福祉相談員27名	① 在宅医療とは ② 地域の特徴 ③ 在宅医療の実際 ④ 相談窓口の紹介

イ 住民啓発：筑紫地域在宅医療介護推進フォーラム「市民公開講座」

開催日：平成28年3月21日(月・振休)

対象者：一般住民等 117名

内容：テーマ「自分の最期をどこで迎えたいですか」

① 講演「在宅ケアの不思議な力」

講師：秋山 正子氏(訪問看護師)

② 地域の在宅看取りを支援する関係機関の紹介

医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション連絡会、  
介護支援専門員連絡協議会

ウ 訪問看護ステーションスキルアップ研修会

開催日：平成27年9月16日(水)

出席者：訪問看護ステーションの訪問看護師23名、筑紫医師会相談員2名

内容：①グループワーク：テーマ「在宅看取り」 3事例を検討

②情報提供：「訪問看護に関する介護・医療報酬について」

スーパーバイザー及び講師：

訪問看護ステーションはな 統括所長 平野 頼子氏

エ 訪問看護ステーション連絡会

訪問看護ステーションの資質向上、24時間の支体制拡充を目的として実施した。

日時	内容
平成27年6月17日(水) 14:00 ~ 16:00	グループワーク「在宅看取りの事例選定」 情報提供：地域包括ケアシステムについて
9月16日(水) 14:00 ~	グループワーク「在宅看取り」3事例 情報提供：「訪問看護に関する介護・医療報酬について」

17:00	※スキルアップ研修会と同時開催
平成28年1月13日（水） 15:00～ 17:00	アンケート調査の結果について ワールド・カフェ「病院と在宅療養患者の情報共有について」
3月16日（水） 14:00～ 16:00	意見交換及び情報交換 「27年度連絡会まとめと次年度計画」

オ 訪問看護ステーション調整会議

訪問看護ステーション連絡会をスムーズに効果的に行うために、訪問看護ステーション代表者による調整会議を年2回実施した。（6月・3月）

(5) 地域連携支援

筑紫医師会主催による地域在宅医療推進事業（地域医療再生基金）の「各市町在宅医療・介護支援ネットワーク会議」開催への協力

<協力内容>筑紫医師会との事前打ち合わせ、各市町ヒアリングと出席調整

<ネットワーク会議の目的>

地域における在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討を行うために、市町毎に多職種参加による会議を開催する。

今年度は、具体的な事例を通じて検討策を協議することにより、問題解決の方法や更なるネットワーク構築を目指す。

<ネットワーク会議の内容>

第1回目：通院可能な時期→症状悪化に伴う入院→退院までの事例（5回）

第2回目：退院後、在宅医療・介護療養中の事例（5回）